



JRE 関東 ひびき

令和2年5月 14日 NO.
JRE 関東地協 機関紙
発行責任者 秋山順一
編集責任者 佐藤定司
港区東新橋 2-8-28

自らを変える!! 明日を創る!! イースト イノベーション

地第2号交部

これからが大切だ!!

暑い夏を迎えるに当たって一層の自覚と行動を!!

—「新型コロナウイルス対応に関する緊急申入れ」について— 支社との間で認識が一致したこと

- これから暑い夏を迎える。熱中症対策が必要になるほか、マスクなど職場における感染予防対策が緩む危険性もある。
➡ **引き続き感染予防対策を講じていく必要がある!!**
- これまで少数の感染で済んでいることは社員(組合員)が日常生活から問題意識をもって自制して行動した結果である!!
- 地域のみならず、お客様の笑顔を創り出せるよう立場は異なるが相互に努力していく!!
- 罹患しないことは大切であるが罹患した場合速やかに医療を受診しやすい職場風土を労使で創造していく!!
罹患された方の職場復帰についても相互で細心の注意を払っていく。



現状認識

- 現状、私たちの会社、関連会社において感染された方は報道の通り総体で25名である。PCR検査については149名受診
- 感染された方の職場、生活範囲については保健所の指導に従って消毒するなど拡大防止策を講じている。
- 新型コロナウイルスの感染拡大による業績悪化は本年4月前年同月比で約1000億円の減収となっている。
- 新型コロナウイルス感染症については長期間にわたって強い影響がある。
➡ **労使で認識を共有する必要性がある!!**

会社における今後の対策

- これまで通り社員の健康に必要な対策を講じていくほか、現場や支社においてテレワークなどを活用し政府の求める接触者抑制対策に添えていく。
- 今月28日から始まる運行本数の削減に伴う社員の一時帰休も「引き続き検討していく」。運行本数減に伴う労働条件変更についてはわかり次第明らかにしていく。時期については今月中旬頃となる。



イーストユニオンとして求めたこと

- 会社が提唱されているテレワークに必要な機材を可能な限り早期に整えること。
- 今後、今般新型コロナウイルス禍においては社長会見の通り厳しいものがまだまだ出来ると考える。その際、労使で議論する事、認識を一致させ前向きに取り組まなければならない事も出てくると思う。その際は、前広に議論できるよう要請す

この困難を労使の協力で乗り越えていこう! 自制心をもって感染防止しよう!!

